



2007年3月12日

～「住信 コモディティ・オープン」取扱い開始～
投資信託銘柄追加のお知らせ

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都港区）は、3月12日（月）約定分より、「住信 コモディティ・オープン」を取扱い銘柄に追加いたします。今回の追加により、弊社取扱い投資信託の銘柄数は66銘柄となります。

また、当社では1月29日（月）～4月27日（金）15：00までの期間中に楽天証券が指定する投資信託をお買い付けいただいたお客様の中から毎月抽選で50名様に楽天証券ポイント10,000ポイントをプレゼントする「投資信託ビッグチャンスキャンペーン」を実施いたしております。当該銘柄は、キャンペーン該当商品に追加されます。

背景と目的・狙い

2005年から原油、金価格の高騰、銅やアルミなどの金属、小麦やトウモロコシなどの農産物の価格上昇を背景に、商品（コモディティ）市況に注目が集まっています。

商品への投資メリットは、まず、インフレヘッジになることが挙げられます。インフレ期にはモノの価格が上昇するため、増産意欲が高まります。その結果、原材料となる商品への需要が増加し、価格が上昇することになります。もう一つのメリットは、商品は、株価や債券価格と異なった値動きをするため、株式や債券と共に商品（コモディティ）をポートフォリオに組みこむことにより、分散投資効果が働き、リスクヘッジの効果を期待することができます。

投資家の関心が、近年、新興市場や外国為替といった資産に向けられているなか、これら新たな資産運用の潮流に対応すべく、当社においても商品（コモディティ）市況に投資する投資信託の取扱いを開始することといたしました。

投資信託の特徴について

「住信 コモディティ・オープン」

世界の商品市況を捉えることを目的に、ダウジョーンズ AIG コモディティ・インデックス（円ヘッジ・ベース）と連動する投資成果を目標として運用を行います。

（設定・運用 住信アセットマネジメント株式会社）